



ことばの教育と、 教育のことば

～新共通テスト・新指導要領を問うことから～

11/30(土)

会場 | 湘南高校

【全体会記念講演会】 10:30 - 12:30

講師: 阿部 公彦さん (東京大学文学部教授)

【分科会】

13:15 - 16:00

| 健康教育分科会 | 後期中等教育問題分科会 | 青年期の心分科会 |

| 人権教育分科会 | 日本語教育分科会 |

| 平和教育分科会 | 家庭科分科会 |

入場無料

申込不要

一般・学生の方もOK!

どなたでも

参加できます



※会場校 神奈川県立湘南高等学校へのアクセス (QRコードから会場までの経路を表示できます)

①小田急江ノ島線 藤沢本町駅 徒歩7分 ②JR東海道線 藤沢駅 徒歩20分



★全体会 11/30 10:30 - 12:30

県教研

2019



全体会記念講演会講師 阿部 公彦(あべ まさひこ)さん

1966年生まれ。横浜市出身。東大文学部教授。英米文学研究・文芸評論。「共同通信」他で文芸時評、「神奈川新聞」で「日本文学あの名場面」を連載。『史上最悪の英語政策 ウソだらけの4技能看板』や共著『検証 迷走する英語入試 スピーキング導入と民間委託』等で、英語民間検定試験を利用して2020年度から始まる大学入学共通テストを批判し続けている。著書は他に『文学をく疑視する』、『善意と悪意の英文学史』、『幼さという戦略』、『名作をいじる』、『100分de名著 夏目漱石スペシャル』等。

★分科会 11/30 13:15 - 16:00

健康教育 全日制全校複数配置が実現した今

この複数体制を私たちは生徒たちのためにどう活かしていけばいいのか。具体的な事例を基に、よりよい保健室経営を探ると共に検証していきます。

後期中等教育問題 「ゼロ・トレランス」化の現状と原因

ゼロ・トレランス方式を勧めている県教委作成「改訂 生徒指導ハンドブック」を批判的に検討します。また、アンケートで明らかになった授業中の巡回・教室立ち入り指導について、「働き方改革」の視点もふまえて議論します。

青年期の心 高校生の視点も踏まえた教育問題

部活等、学校現場の様々な問題が知られるようになりました。その結果、変化したこと、しないことを、高校生の視点も踏まえて考えてみましょう！

人権教育 外国につながる生徒の人権

①「2019外国につながる生徒在籍調査」の報告、②レポート&情報交換「日本語を母語としない生徒の教科指導の工夫」、③レポート「外国につながる生徒から見た日本社会」

日本語教育 どうする？これからの「国語」

4つの報告と討論を行います。①話す聞くの授業実践、②経験作文から意見文集へ、③詩の授業（教室で文学を扱う今日的な意味）、④新カリ、どうする？

平和教育 13歳の少女が見た敗戦・引揚

講師：小川洋子さん（86歳）横浜市在住。1歳の時に家族で旧満州に渡り1946年10月13歳で帰国。神奈川県を中心に戦争体験を子供たちに語り継がれています。教育実践報告。

家庭科 老後2000万円問題と高校生のミライほか

前半は消費税に関する日教組の方針等も交えての検討会なども行い、後半は、いわゆる消費者教育にとどまらない、収入から扱うお金の教育をどの時期に扱うのかを各校の生徒の実態とかかわらせながら検討します。家庭科以外の方もぜひご参加ください。



県教研、いいね！